

77の市町村にわたって居住するすべての県民が等しく情報にアクセスできるよう 電子図書館やデジタルアーカイブサービスを提供

背景・目的

- 長野県には、77の市町村が存在。
条例設置の図書館のない自治体が26%、書店のない自治体が52%と、読書環境には地域差がある。
- すべての県民が等しく情報にアクセスできる基盤を、デジタルを活用しながら拡充することを構想。
- 電子図書館については、水害やコロナ禍を期に、複数の自治体で導入ニーズがさらに高まり、自治体横断での連携可能性を検討することとなった。

取組概要



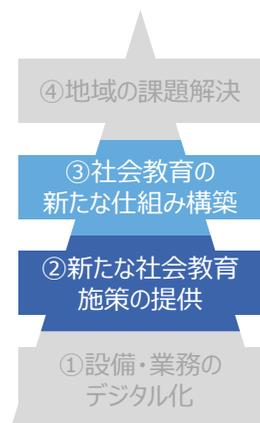
出所)「デジとしよ信州」「信州デジタルコモンズ」Webサイト

- 「デジとしよ信州」：
いつでもどこでも無償で電子書籍を借りられる電子図書館サービス。
長野県内77市町村と県が協働で運営。
- 「信州デジタルコモンズ」：
古文書、美術品、考古資料、写真・映像などのデジタルアーカイブ。5,180点のコンテンツのうち、4,501点は二次利用が可能。
県立長野図書館が、県内の文化施設と連携して運営。

事業経過

- R1 水害により、複数の図書館が休館
「信州デジタルコモンズ」リリース
- R2 新型コロナウイルス感染拡大
休館のない電子図書館サービスの検討開始
- R3 県内公立図書館に対してアンケートを実施
市町村を越えた連携ニーズを認識
市町村と県によるワーキンググループ設置
- R4 「デジとしよ信州」開始

成果・効果



- 図書館サービス利用者層の拡大
 - 図書館開館時間外での社会人の利用
30~60代による20~21時台の利用
 - 障害のある方による利用の利便性向上
電子書籍の特徴を生かして読書バリアフリーに貢献
音声自動読み上げ機能「アクセシブルライブラリー」の導入
 - 海外からの移住者による利用の利便性向上
紙媒体での入手が難しいポルトガル語等の書籍も用意
- 貴重資料の利用促進・利用の利便性向上

【事例】デジとしよ信州・信州デジタルコモンズ（県立長野図書館ほか）【1：サービス詳細】

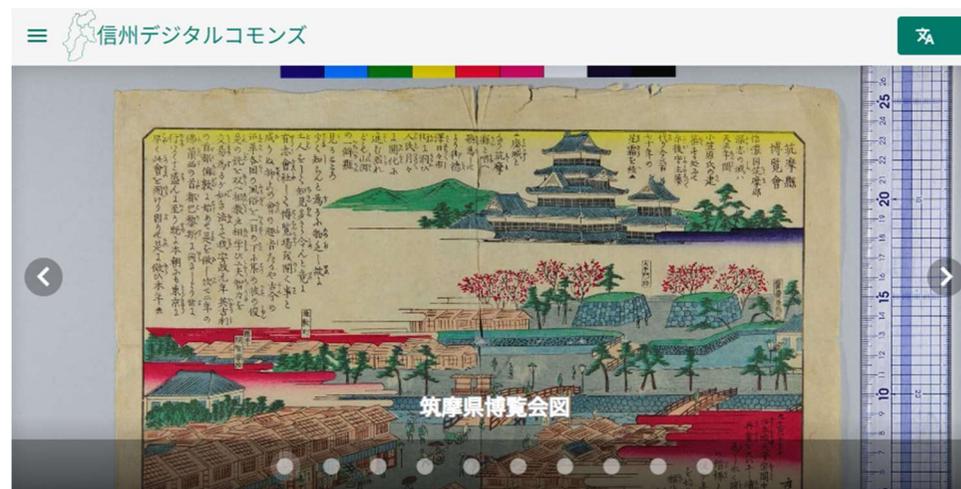
デジとしよ信州

- いつでもどこでも無償で電子書籍を借りられる電子図書館サービス。
- 書籍の主な契約形態は「期間・回数制限型」と「買切型」の2タイプ。電子図書館サービス提供事業者が書籍ごとに契約形態を設定。
 - 「期間・回数制限型」：
 - 一定期間経過、または一定回数以上の貸出で契約が終了するもの（2年間または52回貸出など）
 - 「買切型」：
 - 一度購入すると期間・回数に制限なく利用できるもの



信州デジタルコモンズ

- 古文書、美術品、考古資料、写真・映像などのデジタルアーカイブ。
- 8割以上のコンテンツが二次利用可能で、個人による閲覧に加えて、書籍やテレビ番組での掲載や商品開発への利用なども可能。



資料を探す

キーワード検索



詳細検索

資料種別検索

資料の種別を指定して、検索します。

分野検索

資料の分野を指定して、検索します。

時代検索

資料の時代を指定して、検索します。

市町村地図検索

市町村を地図から指定して、検索します。

【事例】デジとしよ信州・信州デジタルコモンズ（県立長野図書館ほか）【2：実現のポイント】

取組における課題と対応策

	課題	対応策
導入時	電子図書館の導入費用の負担	<ul style="list-style-type: none"> 市町村と県による費用負担の分担 外部からの補助金（宝くじ助成金）を活用
導入後	電子図書館のコンテンツの維持・拡充	<ul style="list-style-type: none"> 各自治体での予算確保（安定的な事業運営のためにはランニングコストを自主財源で賄えることが重要）
	デジタルアーカイブの長期的なアクセスの保証・リンク切れ防止	<ul style="list-style-type: none"> 各アーカイブコンテンツに固有の管理番号を付与し、安定的なデータの保存・管理を実施 『『デジタルアーカイブ活動』のためのガイドライン』を参照しDOIの付与等を検討

取組の成果・効果

- **図書館サービス利用者層の拡大**
 - **図書館開館時間外での社会人の利用**
30～60代による20～21時台の利用
 - **障害のある方による利用の利便性向上**
電子書籍の特徴を生かした活用（文字サイズ拡大等）
音声自動読み上げサービス「アクセシブルライブラリー」による視覚に障害がある方向けサービスの拡大
 - **海外からの移住者による利用や外国語学習の利便性向上**
英語の電子書籍約1,000種のほか、入手が難しいポルトガル語等の書籍も用意
- **学校教育での資料の一斉利用**
 - 児童生徒向け同時アクセスパックの導入と学校との連携によるIDの一括登録により、10代による7～8時台、13時台の利用が増加
 - 市町村が著作権を持つ郷土の学びの副読本等、オリジナルのコンテンツを電子書籍として登録することも可能
 - クラス全員で同一の資料を読みながら学ぶことが可能
- **貴重資料の利用促進・利用の利便性向上**
 - 常時の一般公開や貸出が困難な資料がデジタルアーカイブ化されることにより、利用ハードルが低減。特に地域の学びに使えるコンテンツが増加し、郷土への誇りや愛着を育成できることが期待される

活用した支援

【デジとしよ信州】

- R4～5年度：長野県市町村振興協会 宝くじ助成金

【信州デジタルコモンズ】

- R5年度：デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ TYPE I）

今後の展望

- **リアルとバーチャルのベストミックスの実現**
 - リアル：図書館等のリアルな施設では、多様な人々が交流する機会や、実物を目で見る体験などを提供する場としての役割を担う、など
 - バーチャル：図書館等の施設への訪問やその場での情報収集の障壁を取り除き、すべての人が等しく情報を得られる環境を整備する役割を担う、など